

令和6年度 運営方針

昨年度までコロナウイルスの影響による利用者の入居見合わせや、物価高騰の影響をもろに受け、過去に経験したことのない赤字経営を余儀なくされた。

今年度は、介護報酬も見直され、1,59%引き上げられることとなり、居室利用料も1日当たり60円の引き上げが決定し、年間約500万円の増収が見込まれるものの、給与改善費も含まれており真水ではないと思われるので手放しでの評価はできない。更に、加算制度も追加新設されるので僅かな増収が期待されるも、それに伴う事務量も相当量増加すると思われる。

令和7年度より年間1,300万円の返済が始まるのを前に、これまで請求してこなかった各種加算を見直し、すべての加算を取ることを基本とする方針を各職種に説明し、増収に結び付けるよう意識改革を徹底することとする。

それと共に収入減に多大に影響を与えている入院日数の問題解決のため、病院との協議を細やかに行い1日も早く退院に結び付けねばならない。前年度の入院及び入退所に伴う減収は約1,000万円にも上る見込みであり、ここは、集中的に取り組まなくてはならない重要課題であり、全職員が利用者の健康管理を徹底し、異常の早期発見、早期受診を遂行することで長期入院を避ける一助になると考える。

今年度は、経営基盤の強化を図るため、ムリ、ムダ、ムラをなくし、業務の効率化、働き方改革も合わせて取り組んでいくものとする。